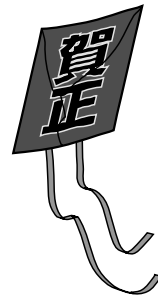


処理すべき問題の解決と同時に十年・二十年先のまちづくりを推進してゆく責務があるのです。中央ルート建設の向こう側にあるものの重要性をしっかりと認識し、行政と市民が思いを一つにして、この計画の最終到達点を目指す必要があります。この建設工事は福岡県が主体で、その一部を前原市が負担(約6分の1)することになっています。20年後の前原市にとって必要な先行投資です。このことに関してのご意見をお聞きしたいと思います。是非お寄せ下さい。



あとがき

十二月の定例議会におきまして、総務文教常任委員会の所属になりました。初心を忘れず、熱意と行動で市民の皆様役に役立つ議員活動を買えます。よろしくお祈りします。

小島忠義の

議会通信〃かけ橋〃
Vol.1

**新年明けまして
おめでとーございます**



皆様のおかげをもちまして十二月の定例議会に出席し、新人議員として第一歩を踏み出すことが出来ました事に深く感謝申し上げます。「元氣ある前原、住みたい前原」作りを目指し、皆様からの声を議会及び行政に届け、前原市の発展のため、より一層の研鑽を積む所存です。



**誇りに思える10年後の
前原市を目指して！**



現在の前原市が財政上大変憂慮すべき事態になっていることを市民の皆さまはご存知でしょうか？これは前原市に限った問題ではなく日本の多くの

<用語解説>

※1. 三位一体改革

- (1) 国庫支出金を減らす。
- (2) 税源を地方に移譲する。
- (3) 地方交付税を見直す。

この三つを同時に行って地方分権を進めようとする改革。

※2. 経常収支比率

収入と支出のバランスを測る比率で人件費(家計でいえば食費)、物件費(生活雑貨)、公債費(ローンの返済)、補助費(子どもへの仕送り)、等の支出が義務づけられている費用が、地方税(給料)、地方交付税・国庫支出金(どちらも親からの仕送り)等の収入の中に占める割合

元氣な前原・住みたい前原にするために、皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。

小島忠義事務所

〒819-1112 福岡県前原市浦志二丁目5-20

TEL(092)322-0155

FAX(092)322-4900

E-mail: kojima-tadayoshi@iwa.bbq.jp

自治体が直面している大きな問題です。当然のことながら前原市も「みんなであつくる元氣な前原」をキャッチフレーズに行財政健全化計画を作成し改革に取り組んでいます。

財政を悪化させた原因の一つに掲げられるのが、国が推進する三位一体改革に伴う国からの仕送りともしえる地方交付税の大幅な削減です。国はこの改革により地方も独自財源の確保を図り、従来からの補助金頼りの行政ではなく、自立した地方自治を目指せということだろうと思います。このことの賛否は別にして、自立した地方自治を確立するには「行政は経営」という認識を持つて対処しなければならぬといふことです。

つまり歳入(収入)と歳出(支出)のバランスを図りながら、どうすれば住民の皆様がより快適で満足していく生活が実現出来るかを考え同時に、十年後、五十年後をきっちり見据えたまちづくりを目指さねばならないといふことです。

